

操作ガイド ソフトウェアキー

品番 QT-AK4000

はじめに

本製品について

当社製デジタル入力レコーダー（本書では「本体」と記載）の別売のソフトウェアキーです。

本体の入力画面でソフトウェアキーを入力すると、下記の追加機能が使用できるようになります。

- 操作については、本体の取扱説明書も併せてご覧ください。

追加機能

- 本体の HDD にある番組を、ネットワーク接続したパソコンにダウンロードする*
- 本体の HDD に録画した番組から、MP4 動画の持ち出し番組を自動で作成する（MP4 自動作成）（DMR-T4000R のみ追加される機能です。DMR-MC500 はすでに対応済みの機能です。）
- 本体とネットワーク接続した NTP サーバーを使用して、時刻を自動で合わせる（NTP 設定）

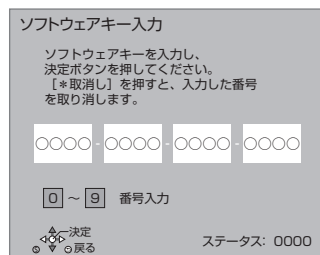
※ダウンロード機能を使用するには、接続したパソコンに別売のソフトウェア（デジタル入力レコーダー ダウンロードソフト）のインストールが必要です。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ソフトウェアキーを入力する

ソフトウェアキーを入力して、追加機能を有効にします。

- 購入したソフトウェアキーを用意してください。

- 1 初期設定 を押す
- 2 「設置設定」を選び、決定 を押す
- 3 「ソフトウェアキー入力」を選び、決定 を押す
- 4 0 記号 ~ 9 記号 で 16 桁のソフトウェアキーを入力し、決定 を押す



- 入力に成功すると、確認画面が表示されます。

- 5 決定 を押す

- 本体が自動で再起動します。
再起動後に追加機能が有効になります。

ステータス表示について

上記手順 4 の画面に表示される「ステータス」は、追加機能の有効状態を表します。

本製品による追加機能の有効状態は、再起動後、下記のようになります。

ステータス: 00(1)

ここに、「1」が表示されます。

追加機能の設定をする

ソフトウェアキー入力で使用できるようになった追加機能の設定をします。

MP4 自動作成

(DMR-T4000R のみ追加される機能です。
DMR-MC500 はすでに対応済みの機能です。)
本体の HDD に録画した番組から、MP4 動画の持ち出し番組を自動で作成します。

- 持ち出し番組の作成は、本体の電源「切」時に行います。
- 作成された持ち出し番組は、ネットワーク経由で持ち出すことができます。

1 初期設定 を押す

2 「設置設定」を選び、決定 を押す

3 「システム機能」を選び、決定 を押す

4 「録画機能設定」を選び、決定 を押す

5 「MP4 自動作成」を選び、決定 を押す



6 「入」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 予約録画時に持ち出し番組作成の設定をした場合は、予約録画時の設定で持ち出し番組が作成されます。
- 以下の番組は、持ち出し番組が自動で作成されません。
 - ・ コピー制限のある番組
 - ・ 120 分以上の番組

本体時刻の自動設定

NTP 設定

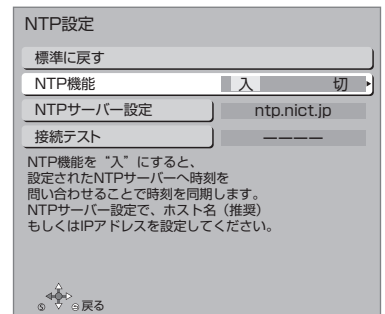
本体とネットワーク接続した NTP サーバーを使用して、時刻を自動で合わせます。

1 初期設定 を押す

2 「ネットワーク通信設定」を選び、決定 を押す

3 「NTP 設定」を選び、決定 を押す

4 「NTP 機能」を選び、「入」を選ぶ



☞ NTP サーバーの接続状態の確認について

上記手順 4 で「接続テスト」を行ってください。「NG」が表示された場合は、接続と設定を確認してください。